

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490900022	事業の開始年月日	平成18年10月1日	
		指定年月日	平成18年10月1日	
法人名	医療法人社団 裕正会			
事業所名	グループホームウエルケア新羽			
所在地	(223-0057) 横浜市港北区新羽町2153番地			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年10月22日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月8日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

庭で育てた野菜が時に食卓に並びます。皆で収穫し皆で調理し皆で楽しく食事をします。週に1回音楽療法士による歌の会があり皆で楽しくリズムに合わせて身体を動かして手拍子をとって大声で歌い大声で笑い音楽を満喫しています。時には外食をしたり出前をとったり水族館、博物館、落語観賞、舞踊コンサート観賞と笑顔ある光景がホームいっぱいにあります。春はお花見、また夏にはスイカ割りや流しそうめん、納涼祭に家族とでかけたり、秋には地域の運動会に参加し、冬には家族を招いてクリスマス会を開催する等季節に応じた生活を楽しんでいます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年11月26日	評価機関 評価決定日	平成23年1月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点>
 ◇健康・医療面、機能訓練の支援
 医療連携体制加算の指定を受け、月2回の訪問診療、週1回以上看護師が訪問・相談に応じている。理学療法士・言語聴覚士および音楽療法士が来訪し、機能訓練による認知症緩和・自立に向けた支援をしている。
 ◇母体である老健との連携
 母体である老健が同地域にあり健康管理・医療面、研修の実施、食事（主菜・副菜）の配食、行事、防災備蓄品の保管などの面で支援して事業所運営の質向上に活かしている。
 <事業所が工夫している点>
 ◇個別支援への配慮
 利用者のADLが低下傾向にある中で、食事の大切さを痛感しており、好み・形態・介助に配慮している。意向や状態に考慮しながら外出、入浴、排泄、食事介助などその人らしく過ごせるよう個別支援に努めている。食事の好みには法人と事業所が共同して個別アンケートを実施して極力応えるよう努めている。
 ◇重度化対応の実践と教育
 重度化対応指針に沿って開所以来始めて本年ターミナルケアを2例実施した。医師・看護師・家族・職員が繰り返し話し合い、家族の意向を汲みながら介護した。重度化対応の研修は、母体の老健と事業所で行っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

ウエルケア新羽

事業所名	グループホームウエルケア新羽
ユニット名	新羽1丁目

V アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)
○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)
○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)
○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の「大切な人だから」を玄関、フロアー、事務室に掲示し管理者より会議で意義が伝えられ接遇の話にて気持ちを思いやる事など家庭的な雰囲気を作り出す事など無事な支援の考え方を統一している。	・法人の理念と事業所の理念（一人ひとりを尊重し、明るく家庭的なゆとりある生活）を掲げ、理念の介護現場での具現化について会議の場で話し合い努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会、清掃活動への参加、法人内の介護老人保健施設で開催される納涼祭に参加し地域の方と楽しい交流があり子供110番の家に登録している。	・町内会に加入して地域の行事に参加し、地域の方々とは散歩の際など気軽に挨拶を交わしたり、農作物の育て方を教えて戴くなど交流を深めている。 ・地元の小・中学生が交流や課外実習に訪れ、利用者の喜びにつながっている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	緑道委員会のワークショップで地域の高齢者が安心して散歩ができ交流が深まる緑道の提案を通じホームで過ごす利用者の支援の理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	同地域同法人のグループホームと合同で行う事により運営推進委員より活発な意見や助言がありグループホーム間でのサービスの実際等を聞く事によりサービスの向上に活かしている。	・運営推進会議は、同一法人系列GH3事業所が合同で年2回開催している。 ・会議では運営・課題について評価・意見・助言を得ている。出された意見について運営に反映するよう共同で検討している。	・運営推進会議の回数が年2回と少ない状況です。年6回開催を目標に努力されることを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	特に生活保護担当の方と入居中の方の処遇について連絡を取り合い協力関係を築いている。	・利用者のホームでの暮らし方について、ケースワーカーと相談しながら助言を得ている。 ・横浜市グループホーム連絡会ブロック会に参加し、港北区担当課長から介護保険適用などの助言を得ている。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の生活状況と行動の把握をし自由な生活を行えるよう支援している。	・身体拘束をした事例はなく、今後もしない方針で諸会議の場で職員研修を実施している。 ・玄関の鍵は前面道路の交通が激しく施錠しているが、外出したい方には付き添い対応している。	・玄関の施錠について、日中の解錠が出来ないか、利用者の行動管理面のあり方等の検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて管理者より利用者の処遇について話があり、虐待防止の徹底をしている。職員も虐待の研修に参加し職員同士が注意しあい防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し会議にて報告している。入居相談の際に状況により話をしている。現在必要性のある方はいないが、継続的に制度の勉強を行っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、契約書にわかりやすく権利、義務を明示し入居する前の面接及び入居時に丁寧に説明し本人及びその家族に理解同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書、重要事項説明書に苦情や相談の窓口（ご意見箱等）の説明をしている。家族会や運営推進会議、ご家族の面会時に意見や要望を聞いている又利用者本人の訴えを聞き必要に応じカンファレンスを行い家族にも報告している。	・利用者や家族の意見・要望を積極的に吸収するため、意見箱の設置や家族来訪時に積極的に話し合っている。 ・個別のケアに関わる要望については、ケアプランなどに反映している。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に職員の話聞き必要に応じて話し合いの場を設けている。又毎月行う定例会議にて意見交換し職員の意見や提案を聞き反映させている。	・毎月の会議の場で職員と意見交換し、意見や提案を聴取している。 ・実施可能なものは直ちに実施している。(外部研修募集案内をボード掲示に改めた事例などがある)	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々の特性を大切にしている。法人内の勉強会への参加、同法人グループホーム研修での発表会の実施など法人の資源を活用し向上心が維持できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同法人グループホームとの合同研修(3つのグループホームが個々にテーマを決め発表会を実施)、法人にて主任研修を実施し、法人内事業所へ外部研修(毎週木曜日)実施し向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会のブロック会に出席、運営推進会議に同地域のグループホーム管理者を招くなどして情報交換・収集を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の状態像や生活歴、希望などを把握して画一的な計画ではなく、一人ひとりに沿って具体的な介護計画を作成している。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時には、必ず本人面談を家族同席のうえ実施し、積極的に家族との関わりを持ちながら利用に結びつけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個人の状態に応じ他種の介護保険事業所の紹介もしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の声掛けや、自発的「手伝おうか」に家事（食器拭きや洗濯物干し、洗濯物の取り込み、掃除等）を行っていただいた時にはねぎらいの言葉をかけ感謝の気持ちを伝えている。昔の話や生まれ育った故郷の話の聞いたり、礼儀の説教を受けたり、職員も一緒に過ごす喜びを感じている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の際には家族も招待し利用者、職員と一緒に楽しんでいる。毎月、報告書にて近況を報告し、状態の変化がある時には電話で様子を伝え介護方法を伝え相談し時には家族に手をかりて理解を得ながら支援をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間を制限せず、いつでも来てもらえるように努めている。面会時も、職員や他利用者に気をお話が出来よう配慮している。外出・外泊も家族と定期的に行えるようお願いしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前住んでいた地域の商店や銀行に行く場合には、職員が付き添って同行している。 ・昔の同僚や友人の来訪時には、居間の一角や居室内に懇談の場を設けて支援している。 	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歌の会（毎週）、誕生会、外食（不定期）等、皆で活動する機会を設けており日常の散歩や家事等を行う中で職員は利用者の中に入り交流の機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族への十分な説明・納得いただきながら退去先の支援を行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の居室担当制により居室担当者が利用者の希望や意向を把握している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の関わり（行動、会話など）の中で、一人ひとりの思いの把握に努めている。 ・コミュニケーションの困難な場合は、表情や仕草から判断して支援に努めている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族に説明を行い本人が以前使用していた家具や馴染み深い物を持ち込んで頂くようにしている。また本人、家族より生活歴や直近の様子を聞き把握し必要に応じサービス利用の事業者より情報をいただくようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、バイタルチェックを行い記録している。日々の利用者の精神状態・心身状態を観察し、活動性の低下に十分注意を払い一日を安全安楽に過ごしていただくように見守っている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時に相談資料と本人、家族の希望を聞き介護計画を作り入居後本人の希望や生活状況を把握して、カンファレンスにて職員の意見も聞きながら介護計画を作っている。	・介護計画は家族・職員と話し合いの上で作成している。 ・見直しは6か月ごとに行うが、急な変化が見られた際はカンファレンス（家族が参加するケースもある）にて検討し見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活確認表、ケース記録を毎日、一人ひとりの様子を具体的に記録している。月に一度気づきをもとに全利用者のカンファレンスを行い1ヶ月後評価し介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の重度化に対応するため外部研修（法人内）を行い実践している。そして訪問看護師とも協働し医療の必要度が高くなった場合も柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム内にて地域の合唱団のコンサートや中学生の課外実習の受入、特別学級の小学生との交流、地域から運動会の招待を受けるなど楽しみある生活の支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同一法人のクリニックから、月2回、訪問診療をお願いしている。更に必要時にはクリニック受診・相談ができ、訪問看護師の週一度以上の訪問・相談、歯科医の訪問診療なども実施している。	・受診は本人・家族の希望に応じているが、現在は全員が家族の同意と納得の上で協力医療機関を受診している。 ・急な体調変化時や個別に必要な専門医の受診には、職員が通院の介助をしている。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の介護老人保健施設の看護師へ相談、契約訪問看護ステーションの看護師とはいつでも連絡がとれ相談、訪問対応をしていただいております。週一度以上は訪問による健康状態の管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に職員がホームでの生活状況や病状経過の説明を行い、治療方針や退院の目処を聞き、病院の医師、家族、訪問診療医、訪問看護師と状態の相談をしながら早期退院ができるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針を定め本人及び家族に説明し同意を得ている。本人、家族、訪問診療医師、訪問看護師、介護者が指針に基づき共通したケアの考え方をもち、連携を取りながら支援していく。	・事業所は重度化対応方針を定め、重度化・終末期の対応支援をし、本年ターミナルケアを2例実施した。 ・重度化対応の職員研修は同一法人老人保健施設と共同で行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	同法人のグループホーム研修で急変時、事故発生時の対応をテーマに取り組みを行った。訪問看護師も参加しマニュアルの策定を行った。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を消防署立会いの下行っている。管理者が地域施設の合同訓練に参加するなどして避難方法を共有し訓練に活かしている。	・年2回（内1回は夜間を想定）の消防訓練を実施している。 ・訓練内容は通報・消火・全利用者の避難である。本年3月の訓練には消防署立会いのものと実施した。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	管理者が会議で尊敬を持った言葉掛けをするように話をしている。居室に入る時の挨拶の徹底、名前の呼び方は「～さん」と失礼の無いよう徹底している。	・職員は利用者の個性を尊重すると共に、誇りやプライバシーを損ねないように注意している。 ・年長者への尊敬の念と、笑顔で心地よい言葉かけを心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一律に同じ事をせず、個々の意思に任せた生活を送っていただいている。介護者は日常の中から本人の行いたい事を見極め支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者の希望により、散歩、昼寝、TVを見たり畑の水遣り、体操やゲームをしたりしている。天候事情で散歩に行けないときは、室内で出来る事を考え納得いただくようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容の乱れ、汚れがある場合は、自尊心を傷つけないように心配りをし、居室で直すなど配慮している。外出の際は好みの服に着替えして出かけている。また、美容師の出張美容もお願いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・利用者で出来る方には配膳、下膳、食器拭きも職員と一緒にお願いしている。 ・食事を楽しんで貰うために、利用者が栽培した野菜を提供したり、リクエストによりマス寿司やお蕎麦の提供もしている。	・利用者と共に食事を楽しむために、配膳、下膳のお手伝いをお願いする中で、職員もおしゃべりしながら食事を楽しんでいる。 ・利用者が栽培した野菜を食卓に提供したり、お寿司など出前を取って楽しむこともある。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・毎日の食事と水分の摂取量を把握し、水分摂取が少ないときは声かけして摂取を奨めている。 ・給食のカロリー計算などは、同一法人老人保健施設栄養士のチェックがある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い歯ブラシが使えない方には、ガーゼ・スポンジを使い介助している。訪問歯科医とも相談し支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表により把握する事でさりげなくトイレ誘導します。声掛けによる失禁の軽減を図り、リハビリパンツから綿パンツに変更できる支援に努めています。	・排泄チェック表も参考に声かけし、サイン・仕草を見逃さないようにして、トイレ誘導など自立支援をしている。 ・その結果、リハビリパンツから布パンツに改善した利用者が2名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩、体操等の運動、下剤の内服のみに頼らず、水分摂取、牛乳、ヨーグルト、かんてん等を使った食べ物で工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は原則午後としているが、午前中に入浴を奨める場合もある。入浴が嫌な方にも無理強いせずに週2回は入浴していただくようにしている。又季節により菖蒲湯、みかんの皮を乾燥させたみかん湯等で楽しんでいる。	・週2回以上の入浴を、利用者の体調を考慮しながら支援している。 ・入浴に積極的でない利用者には、声かけを工夫したり、好みの入浴剤を提供して入浴を奨めている。	

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩やレクリエーション、体操、入浴等で生活のリズムをつくり、活動性を上げ安眠につなげている。昼食後は休息の時間を設けそれぞれ自由に居室で休まれている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに個人服薬情報があり、職員は随時確認している。また処方に変更がある場合も申し送りを徹底し確認している。服薬マニュアルがあり与薬には十分気をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり、出来る方には掃除や食器拭きを行っていただいている。散歩や畑の水遣り、週1回歌の会を行い、夕食後は21時までテレビを楽しむ支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のよい日は散歩や庭に出たりしている。法人内の介護老人保健施設の催し物に家族と参加したり、地域の落語、舞踊チャリティーコンサートに出かけている。また水族館や博物館への外出支援も行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に日々15分～30分のベランダでの外気浴や散歩をしている。 ・利用者の希望に応じ、買い物、地域の行事などに一緒に出掛けたり、季節行事として水族館にも出掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体的状況にもよりますが、アンケート結果とヒアリング結果から、日常的な散歩回数・時間を多くすることの検討を期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の了解を得てホームで管理しているが買い物に行った時には、個々にレジ等で支払いを行うようにしている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話を必要に応じて利用していただいている。ハガキ、切手をホーム内に用意し、本人と一緒に手紙の投函等の支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の草花がある。リビングはレースカーテンで程よく日を遮り、玄関にある椅子に腰かけ外をみて過ごされる方、ソファに座り大型テレビを見て過ごされる方、その人なりの過ごし方をされている。	・共用空間は温かみのある家庭的なつくりで、居間兼食堂は広々として明るい。利用者作品の貼り絵やクリスマスツリーなどで季節感を採り入れ、床暖房・加湿器を設置して、心地よく過ごしやすい居場所となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置や椅子、テーブルの配置を工夫し個々に心地良い居場所を確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には利用者好みの、寝具、筆筒、机、椅子、鏡台、一人一人思いのものが、又テレビ、仏壇がある方等家族とも相談しながら居心地の良い部屋づくりをしている。	・居室のエアコン、レースのカーテン以外は、各自が使い慣れた好みの物を持ち込んで、居心地の良い部屋づくりをしている。その他、室内で毎年ランを咲かせて楽しんでいる人もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フルフラットのフロアは整理整頓を心がけ浴室にも手摺が設置されている。トイレは1箇所、車椅子用トイレが設けられている。職員は出来る事は時間がかかっても見守ることとして自立した生活支援を第一に考えている。		

ウエルケア新羽

事業所名	グループホームウエルケア新羽
ユニット名	新羽2丁目

V アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)
○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)
○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)
○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の「大切な人だから」を玄関、フロアー、事務室に掲示し管理者より会議で意義が伝えられその人らしく家庭的な雰囲気を大切に生活の支援をする事を共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会、清掃活動への参加、法人内の介護老人保健施設で開催される納涼祭に参加し地域の方と楽しい交流があり子供110番の家に登録している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	緑道委員会のワークショップで地域の高齢者が安心して散歩ができ交流が深まる緑道の提案を通じホームで過ごす利用者の支援の理解を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	同地域同法人のグループホームと合同で行う事により運営推進委員より活発な意見や助言がありグループホーム間でのサービスの実際等を聞く事によりサービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	特に生活保護担当の方と入居中の方の処遇について連絡を取り合い協力関係を築いている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の生活状況と行動の把握をし自由な生活を行えるよう支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議にて管理者より利用者の処遇について話があり、虐待防止の徹底をしている。職員も虐待の研修に参加し職員同士が注意しあい防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し会議にて報告している。入居相談の際に状況により話をしている。現在必要性のある方はいないが、継続的に制度の勉強を行っていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、契約書にわかりやすく権利、義務を明示し入居する前の面接及び入居時に丁寧に説明し本人及びその家族に理解同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書、重要事項説明書に苦情や相談の窓口（ご意見箱等）の説明をしている。家族会や運営推進会議、ご家族の面会時に意見や要望を聞いている又利用者本人の訴えを聞き必要に応じカンファレンスを行い家族にも報告している。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行う定例会議にて意見交換し職員の意見や提案を聞き反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個々の特性を大切にしている。法人内の勉強会への参加、同法人グループホーム研修での発表会の実施など法人の資源を活用し向上心が維持できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同法人グループホームとの合同研修（3つのグループホームが個々にテーマを決め発表会を実施）、法人にて主任研修を実施し、法人内事業所へ外部研修（毎週木曜日）実施し向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会のブロック会に出席、運営推進会議に同地域のグループホーム管理者を招くなどして情報交換・収集を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の状態像や生活歴、希望などを把握して画一的な計画ではなく、一人ひとりに沿って具体的な介護計画を作成している。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時には、必ず本人面談を家族同席のうえ実施し、積極的に家族との関わりを持ちながら利用に結びつけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個人の状態に応じ他種の介護保険事業所の紹介もしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の声掛けや、自発的「手伝おうか」に家事（食器拭きや洗濯物干し、洗濯物の取り込み、掃除等）を行っていただいた時にはねぎらいの言葉をかけ感謝の気持ちを伝えている。昔の話や生まれ育った故郷の話の聞いたり、礼儀の説教を受けたり、職員も一緒に過ごす喜びを感じている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の際には家族も招待し利用者、職員と一緒に楽しんでいる。毎月、報告書にて近況を報告し、状態の変化がある時には電話で様子を伝え介護方法を伝え相談し時には家族に手をかりて理解を得ながら支援をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間を制限せず、いつでも来てもらえるように努めている。面会時も、職員や他利用者に気をお話ができるよう配慮している。外出・外泊も家族と定期的に行えるようお願いしている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歌の会（毎週）、誕生会、外食（不定期）等、皆で活動する機会を設けており日常の散歩や家事等を行う中で職員は利用者の中に入り交流の機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族への十分な説明・納得いただきながら退去先の支援を行っている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の居室担当制により居室担当者が利用者の希望や意向を把握している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族に説明を行い本人が以前使用していた家具や馴染み深い物を持ち込んで頂くようにしている。また本人、家族より生活歴や直近の様子を聞き把握し必要に応じサービス利用の事業者より情報をいただくようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、バイタルチェックを行い記録している。日々の利用者の精神状態・心身状態を観察し、活動性の低下に十分注意を払い一日を安全安楽に過ごしていただくように見守っている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時に相談資料と本人、家族の希望を聞き介護計画を作り入居後本人の希望や生活状況を把握して、カンファレンスにて職員の意見も聞きながら介護計画を作っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に生活確認表、ケース記録を毎日、一人ひとりの様子を具体的に記録している。月に一度気づきをもとに全利用者のカンファレンスを行うようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の重度化に対応するため外部研修（法人内）を行い実践している。そして訪問看護師とも協働し医療の必要度が高くなった場合も柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム内にて地域の合唱団のコンサートや中学生の課外実習の受入、特別学級の小学生との交流、地域から運動会の招待を受けるなど楽しみある生活の支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族同意のもと月2回、訪問診療（入院が必要な場合同法人の病院に入院ができる）をお願いしている。結果、身体に変化がある場合には家族に報告し今後の治療について説明と同意を得るようにしている。また同法人のクリニック受診・相談、訪問看護師の週一度以上の訪問・相談、歯科医の訪問診療など家族にも納得いただいている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の介護老人保健施設の看護師へ相談、契約訪問看護ステーションの看護師とはいつでも連絡がとれ相談、訪問対応をさせていただいており週一度以上は訪問による健康状態の管理を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に職員がホームでの生活状況を伝え、病状経過をの説明を十分に行い、家族と治療方針や退院の目処を聞き、病院の医師、家族、訪問診療医、訪問看護師と状態の相談をしながら早期退院ができるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化指針を定め本人及び家族に説明し同意を得ている。本人、家族、訪問診療医師、訪問看護師、介護者が指針に基づき共通したケアの考え方をもち、連携を取りながら支援していく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	同法人のグループホーム研修で急変時、事故発生時の対応をテーマに取り組みを行った。訪問看護師も参加しマニュアルの策定を行った。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を消防署立会いの下行っている。管理者が地域施設の合同訓練に参加するなどして避難方法を共有し訓練に活かしている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	管理者が会議で尊敬を持った言葉掛けをするように話をしている。居室に入る時の挨拶の徹底、名前の呼び方は「～さん」と失礼の無いよう徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一律に同じ事をせず、個々の意思に任せた生活を送っていただいている。介護者は日常の中から本人の行いたい事を見極め支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるが利用者の希望により、散歩、昼寝、TVを見たり畑の水遣り、体操やゲームをしたりしている。散歩は天候により行けない事があるため室内で出来る事を考え納得いただくようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容の乱れ、汚れがある場合は、自尊心を傷つけないように気配りをし、居室で直すなど配慮している。外出の際は好みの服に着替えおしゃれをして出かけている。また近所のお気に入りの理美容室に定期的に出かけ身だしなみには気をつけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員はサポートの必要性のある利用者の隣に座り、皆と会話をしながらサポートし一緒に食事をします。たまに庭の畑でとれた野菜などが食卓に並んだりして楽しい食卓です。利用者で出来る方には配膳、下膳、食器拭きも職員と一緒にしています。また「ご当地の味巡り」企画でソーキそば、鱈寿司、長崎ちゃんぽんが食卓に並びました。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事摂取量を把握するためのチェック表に毎日記録している。その都度、摂取量が少ない利用者には声掛けし好きな食べ物、飲み物を用意してすすめている。献立は法人内の介護老人保健施設の管理栄養士が作り、主菜は施設より配食され栄養バランスの取れた食事を提供している。水分摂取困難な方にはゼリー対応し、嚥下の状態が悪い方にはトロミを入れ飲まれるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科医の指導も受け毎食後、介助にて口腔ケアを行っている。歯科医と相談し協働で口腔内の清潔を保ちたい。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表により把握する事でさりげなくトイレ誘導します。声掛けによる失禁の軽減を図り、リハビリパンツから綿パンツに変更できる支援に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	散歩、体操等の運動、下剤の内服のみに頼らず、水分摂取、牛乳、ヨーグルト、かんでん等を使った食べ物で工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は原則午後としているが、気持ちよく入っていただくために様子をみて午前中に入浴を進める場合もある。ほぼ毎日入浴される方もいるが入浴が嫌な方もいる。無理強いせず週2回は入浴していただくようにしている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩やレクリエーション、体操、入浴等で生活のリズムをつくり、活動性を上げ安眠につなげている。昼食後は休息の時間を設けそれぞれ自由に居室で休まれたり本を読んだりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに個人服薬情報があり、職員は随時確認している。また処方に変更がある場合も申し送りを徹底し確認している。服薬マニュアルがあり与薬には十分気をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんだり、出来る方には掃除や食器拭きを行っていただいている。皆が同じ事をするのではなく、個々に出来る事を声掛けて無理なく行っている。散歩や畑の水遣り、週1回歌の会を行い、夕食後は21時までテレビを楽しんだり、居室で本をよむなどして楽しめる時間の提供をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は希望に応じ散歩に出かけたり自由に庭に出たりしている。法人内の介護老人保健施設の催し物に家族と参加したり、地域の方が集まる落語、舞踊チャリティーコンサートに出かけたり地域の運動会に参加するなどしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は家族の了解を得てホームで管理しているが買い物に行った時には、個々にレジ等で支払いを行うようにしている。		

ウエルケア新羽

自己評価	外部評価	項目	新羽2丁目自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話を必要に応じて利用していただいている。ハガキ、切手をホーム内に用意し、本人と一緒に手紙の投函等の支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の草花がある。リビングはレースカーテンで程よく日を遮りリビングから玄関のど戸を開放し、玄関にある椅子に腰かけ外をみて過ごされる方、ソファに座り大型テレビを見て過ごされる方、その人なりの過ごし方をされている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置や椅子、テーブルの配置を工夫し個々に心地良い居場所を確保している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には利用者好みの、寝具、箆箆、机、椅子、鏡台、一人一人思いのものがあり、又テレビ、仏壇がある方等家族とも相談しながら居心地の良い部屋づくりをしている。ドアを開放しても部屋の中が見えぬようお気に入りの色ののれんをかけ安心して過ごせる工夫をしている。カーテン、のれんは防災生地を使用している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フルフラットのフロアは整理整頓を心がけ浴室にも手摺が設置されている。トイレは1箇所、車椅子用トイレが設けられている。職員が注意を払い出来る事は時間がかかっても見守り、出来ない場合はさりげなく声をかけ設備を利用した自立した生活を第一に考えている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームウエルケア新羽作成日 平成23年1月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の委員の日程調整。	開催回数を増やす。	開催月を設定し日程調整がまとまらない場合であっても設定した月内に集まった委員だけで実施する。徐々に回数を増やしていく。	12ヶ月
2	49	身体的な理由から入居者により差がある。	外出の機会を増やす。	全利用者の個別支援の見直しを行い散歩等、外出支援を充実させていく。	12ヶ月
3					
4					
5					